

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び  
 II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成  
 III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築  
 IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成  
 V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 宮城県 】

1 実践テーマ	【 I, III, V 】
2 実施対象者	大和町立吉岡小学校 第4学年 113名 第5学年 129名 第6学年 125名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( 体育, 総合的な学習, ) ② 行事名 (ユメセン, 七十七銀行陸上部陸上クリニック, 白杖体験, 夢と希望と志を語る会, スポーツ選手との交流会) ③ その他 ( ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( 大和町親善陸上記録会 ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピックやスポーツ選手との交流を通して、児童のスポーツに対する興味関心を高める。</li> <li>・トップアスリートとの交流を通して、自分の将来について考える機会とする。</li> <li>・陸上記録会に向け、自己の記録を伸ばそうと努力する気持ちを高める。</li> </ul>
5 取組内容	<p>(1) ユメセン</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>日 時 平成30年6月5日 (火)              場 所 吉岡小学校 教室・体育館              対 象 5年生 (129名), 教職員              講 師 岩倉 三恵 氏 (サッカー選手, ユニバーシアード 日本代表)              松本 弥生 氏 (水泳選手, ロンドンオリンピック リオデジャネイロオリンピック出場)</p> </div> <p>サッカー選手の岩倉三恵さん, 水泳選手の松本弥生さんを夢先生としてお招きした。まず前半は, 夢先生と交流を深めながらウォーミングアップ・サブゲームを行い, メインゲームを通して目標を達成することの充実感を味わった。後半は, 小学生のころの話や夢をもったき</p>

っかけ、黒板に夢曲線を黒板に描きながら小さい頃の夢を掴むまでの話、これからの夢について話していただいた。競技との出会いや困難を乗り越えながら夢を叶えるまでの経験談を聞くことで、児童たちは努力の大切さや周りに感謝することの大切さを学べた。また、今後のオリンピックへの興味関心が高まるような活動、講演会であった。

## (2) 七十七銀行陸上部 陸上クリニック

日 時 平成30年9月6日(木)  
場 所 吉岡小学校 校庭  
対 象 6年生(125名)、教職員  
講 師 七十七銀行陸上部

七十七銀行陸上部の皆さんをお招きし、「基本動作を教えてください」という実技講習を実施した。実技では、速く走るために「足を高くあげること」「腕をしっかりふること」が大切であるとお話をいただき、そのための練習方法を教えていただいた。また、スムーズにバトンパスをする方法では、「声を掛け合うことが大切である」とお話をいただいた。実技講習の最後には、陸上部のみなさんによるリレーパスを見せていただき、あまりの速さに子供たちはとても驚いていた。

実技講習の後は、給食交流を行った。将来の夢や目標について、陸上部の方々と交流を深めることで、トップ選手を身近に感じられる機会となった。

### ●走り方を教えてください



### ●バトンパスを教えてください



2017年度「第101回日本陸上競技選手権大会」女子400mハードル6位入賞選手、「第65回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会」女子1600mリレー優勝選手、女子100mハードル優勝選手などに来ていただき、走るフォームや上手なバトンパスを細やかに指導していただいた。

日時 平成30年9月14日(金)  
場所 吉岡小学校 校舎内  
対象 4年生(113名), 教職員

総合的な学習で福祉について学習した。白杖をもち目隠しをし、2人1組になって校舎内を歩く活動を行った。実際に体験してみることで、視覚に障がいをもつ人の気持ちや大変さを感じることができた。



日時 平成30年11月13日(火)  
場所 大和町まほろばホール  
対象 4年生(113名), 教職員  
講師 東俊介氏(ハンドボール日本代表)

大和町内の小学校4年生, 中学校2年生を対象に, 元ハンドボール日本代表選手の東俊介氏に講師として来ていただき, 「ハンドボールから学んだ思いやりと“出来ない”を“出来る”にする努力する習慣」という演題で講演を行っていただいた。相手の立場に立って物事を考えていくことで, 思いやりの精神は育っていくということ, また自信を付けていくために練習の回数を増やしていく「プラス3の法則」という独自の練習法も教えていただき, 子どもたちはとても参考になった様子であった。



日時 平成31年3月5日(火)  
場所 吉岡小学校  
対象 4年生(113名), 教職員  
講師 佐藤真有氏(陸上選手, 北京オリンピック出場)

陸上400mの北京五輪日本代表選手の佐藤真有氏に講師として来校いただき, 4学年の児童を対象に佐藤氏とオリンピックについてのお話をいただいた。北京五輪の陸上4×400m Rに出場された佐藤氏の映像を見て, 世界と戦う日本代表の勇ましさを感じ驚いた様子であった。ま



	<p>た、小学校～大学生時代の時の陸上に対する取り組み方などを、当時の心境に沿ってお話しいただき、とても貴重な時間となり、東京オリンピック開催への期待が高められた。</p>
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トップアスリートとの交流を通して、夢や希望をもち、目標に向かって前向きに取り組む大切さを学んだ。</li> <li>・障がい者の生活を体験することにより、お互いの立場や気持ちを理解することの大切さや、パラリンピックに対する興味・関心の向上や視野の広がりが見られた。</li> <li>・教えてもらったことを生かそうと、陸上記録会の練習に対する意欲が向上した。</li> <li>・ハンドボールの日本代表選手として活躍された東俊介氏に講演をしていただいたことで、子供たちは、将来に向けてどのように頑張っていけばいいのかを考えるよい機会になった。自分を支えてくれる人たちに感謝するというとても大切なことを、東氏ご自身の体験談を踏まえてお話しいただき、子供たちも楽しく、そしてとても実りある体験になったように感じられた。</li> <li>・オリンピックでの注目も高い「陸上競技」のお話を通して、子供たちはオリンピックに対する見方も変わった様子であった。佐藤氏から「①何事にも挑戦すること②周りの人に感謝すること」という大事なことをお話しいただき、子供たちも考えを深めることができた。来年に控える東京五輪への子供たちの期待も高まる様子であった。</li> </ul> <p>○ 活動を通して子供たちは次のような感想をもった。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>七十七陸上部 陸上クリニックより</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トップ選手の走りを実際に見ることができてよかった。</li> <li>・走り方のポイントを教えてもらったので、速く走れるように頑張りたい。</li> </ul> </div>
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動を、体育の時間の指導に結び付けていくように指導計画を工夫する。</li> <li>・事前指導の時間を十分に確保し、交流に対する心構えや意識を高めるように工夫する。</li> </ul>
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師との打ち合わせの時間が少なかった。</li> <li>・外部講師の方に来ていただいて、指導を受けることは大変有効であるが、講師選定等ある程度の人脈がないと難しいと感じた。</li> </ul>
9来年度以降 の実施予定	<p>トップアスリートをお招きし、交流することは検討したい。</p>